

図書だより



県立加古川南高等学校図書館
2026年10月号

朝晩が涼しくなり、秋の訪れを感じる季節となりました。

図書館では、読書週間に向けておすすめコーナーの設置、新しい本の紹介をしています。図書館は職員室の隣にあります。昼休みと放課後に利用できますので、ぜひ利用してください。

読書感想文校内コンクール審査結果

結果を報告します。どの作品も大変すばらしかったです。
ご応募ありがとうございました。

最優秀賞 2年6組 小谷 百楓 題名「平和のうぶごえ」

書名 『平和のうぶごえ「原爆の子」として生きた80年』（課題図書）
著者名 早志百合子

優秀賞 2年3組 青木 美月 題名「進む勇氣」

書名 『ノアハム・ガーデンズの家』（課題図書）
著者名 ペネロピ・ライブラー著 佐藤倫子訳

佳作 2年6組 寺口 陽斗 題名「現代社会と生きるぼくら」

書名 『生きるぼくら』（自由図書）
著者名 原田マハ

*2026年度 第72回青少年読書感想文兵庫県コンクール及び2025年度 第37回読書感想文兵庫県コンクールの受賞作品集が発行されます(900円)。購入希望者は、10月末までに図書室に申し出てください。



読書に関するアンケート結果について

アンケートにご協力ありがとうございました。

年次ごとに行ったアンケートですが、1学期末に全年次揃いました。

報告が遅くなりましたが、アンケート結果は図書館内の掲示板(後ろ)に貼っています。全ての要望にお応えすることはできませんが、改善できることは見直し、本のリクエストにもできるだけ応じられるよう検討していきたいと思えます。新着図書コーナーは随時更新していきますので、どんな本が入ったかこまめにチェックしに来てくださね。これからも図書館をどうぞよろしくお願いいたします。

読んでおいしい、作って楽しいハロウィン

図書委員が選ぶ

簡単で美味しい！手作りスイーツ本



コーナーを作っていますので、ぜひ見に来てください

ハロウィンは
西洋版のお盆？

もともとハロウィンは、ケルト人が先祖の霊をまつるために行った行事でした。11月1日はケルト人の新年で、その前日に亡くなった人の霊が帰ってくると信じられており、霊と一緒にいられるようにお菓子をまくらうと考えられていました。日本のお盆とよく似ていますね。今では、キリスト教の聖人をまつる祭りの前夜祭として、かぼちゃを飾ったり仮装した子ども達が家々を回ってお菓子を集めたりするようになり、日本でもハロウィンを祝う所が多くなっています。かぼちゃの提灯は、「ジャックの提灯」とも呼ばれ、行いが悪く悪魔にもいたずらをしたジャックは、死後天国にも地獄にも入れてもらえず、今でも提灯を持って暗闇をさまよっているなどの伝説があります。

Happy
Halloween



読書の秋です。本を読みませんか。

図書委員が選びました。
おススメの言葉も読んでください。

『あの星が降る丘で、君とまた会いたい。』

汐見 夏衛著 スターツ出版

中学2年生の涼は、転校先の学校で百合と出会う。初めて会うのになぜか懐かしく、ずっと前から知っていたような不思議な感覚になる。まっすぐで凛とした百合に、涼はどんどん惹かれていくが…。この物語は、『あの花が咲く丘で、また君と会えたら』の続編で、戦争の話が出てきます。平和について考えさせられる物語だと思います。 図書委員 Y

『祈りのカルテ』

知念 実希人著 KADOKAWA

若き医師の成長と、患者たちが胸に秘めた真実に心を震わせる連作医療ミステリー。主人公の諏訪野先生が様々な謎を解明し、患者の悩みに向き合っていく姿がこの話の魅力です。諏訪野先生が最終的にどこの科に進むのかを決意する所が特におすすめです！

図書委員 I

『52ヘルツのクジラたち』

町田 そのこ著 中央公論新社

自分の人生を家族に搾取されて生きてきた女性・三島貴瑚。ある痛みを抱えて東京から海辺の一軒家へ引っ越してきた彼女は、そこで母親から「ムシ」と呼ばれて虐待された声を発することのできない少年と出会う。貴瑚は少年との交流を通し、かつて自分の声なき声なき SOS に気づいて救い出してくれたアンさんとの日々を思い出していく。 図書委員 S

『人魚が逃げた』

青山 美智子著 PHP 研究所

ある3月の週末、「王子」と名乗る謎の青年の言葉がSNS上でトレンド入りした。「人魚が逃げた」と語る王子の騒動の裏で、5人の男女が人生の節目を迎えようとしていた。元タレントの会社員、主婦、コレクター、作家、ホステス…。人魚を巡る騒動は何をもたらすのか…。様々な人の人生が描かれた作品です。

図書委員 Z

新しい本が入ってきます！

テストが終わったら読みたい本を探しに来てください。新しい本がたくさん届きます！

- ・マンガでわかる警察官になるための専門常識
- ・一冊で読む日本の近代詩500
- ・雨穴の家
- ・プレゼント
- ・夜想い
- ・移民1000万人時代 2040年の日本の姿
- ・夏帆―The Tale of KAHO
- ・それいけ、平安部
- ・ギャルにひかれて寺マルシェ
- ・美しい高校数学の物語
- ・皿の上の聖騎士
- ・魔王学園の不適合者
- ・楽園
- ・薬屋のひとりごと17巻
- ・キングダム80巻
- ・ママがもうこの世界にいらなくても 私の命の日記

- ・人にはどれほどの本がいるか
- ・本当に危ない闇バイトの話
- ・捨てられた僕と母猫と奇跡
- ・永遠の記憶
- ・池袋高齢者暴走事故 遺族と加害者家族の2060日
- ・どら蔵
- ・努力の地図
- ・ヴィバルディと私
- ・マンガでわかるスマホ脳の恐怖
- ・月がきれいな夜に、誰かに思い出してほしい
- ・災害時、リアルに役立つ！助かるマニュアル
- ・世界現代史なぜ「力こそ正義」はよみがえったのか
- ・生成AI時代の国語力
- ・僕の推しキャラたちの名言・セリフ
- ・ゲド戦記
- ・朝日キーワード2027

他

読書感想画コンクールに応募しませんか



読後の感想を絵で表現してみませんか？

第38回読書感想画中央コンクールへの参加を募集しています。希望者は、10月16日(金)までに図書室に来てください。指定図書は、以下の5冊です。詳細は図書室でお知らせします。

『その糸を文字と成し』『ツバメの親子はどこにいる』『ビスケット』『閉じこめられた「森の人」』『挑戦する田んぼ』
*応募は自由読書、指定読書どちらでも構いません。希望があれば、指定図書は図書館で購入します。